

白川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～上流から河口まで一本でつながる治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

R8.5更新

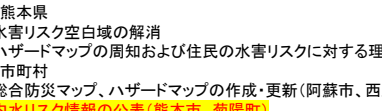
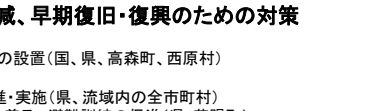
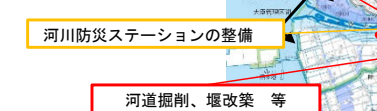
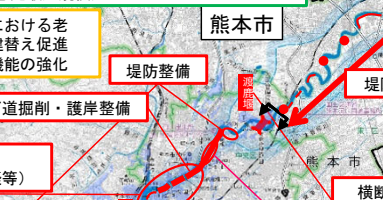
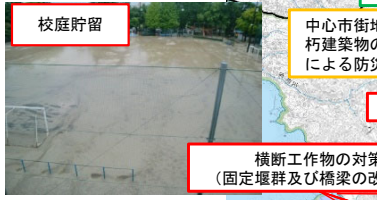
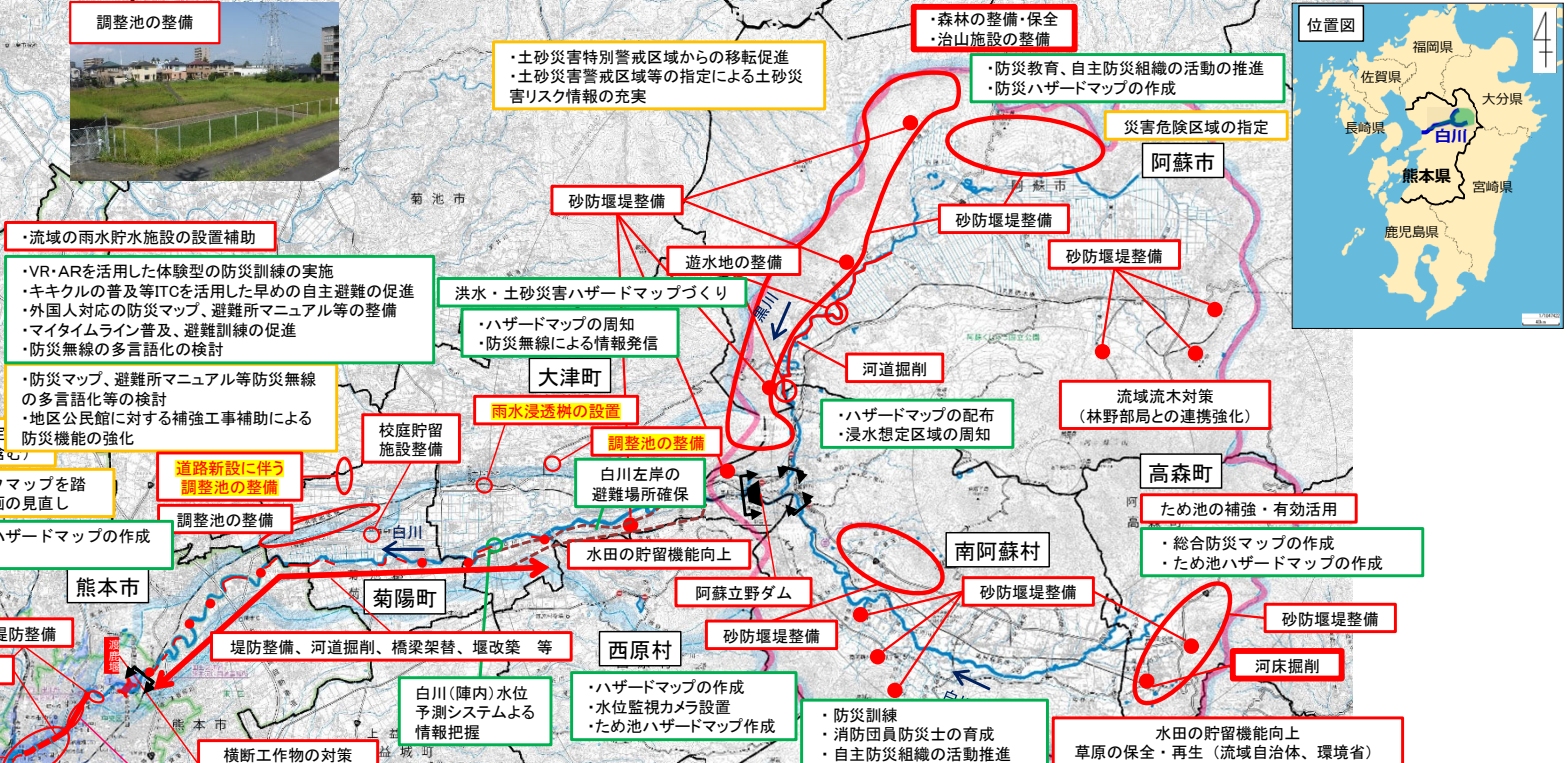
- S28.6洪水では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したこと等を踏まえ、白川水系においても以下の取り組みを一層推進していくものとし、国管理区間においては、気候変動（2℃上昇）下でも目標とする治水安全度を維持するため、河川整備計画規模である年超過確率1/60の規模に対し2℃上昇時の降雨量増加を考慮した雨量1.1倍となる規模の洪水を安全に流下させることを目指す。
- 堤防整備や河道掘削等の事前防災を引き続き推進するとともに、気候変動の影響に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化という新たな課題や、流域の土地利用の変遷に伴う保水・遊水地域の減少等をふまえ、将来にわたって安全な流域を実現するため、流出抑制対策の検討や防災まちづくり等、流域市町村が一体となった防災・減災対策を図る。

■被害対象を減少させるための対策

- ・災害危険区域の指定
- ・立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）
- ・中心市街地における老朽建築物の建替え促進による防災機能の強化
- ・防災マップ、避難所マニュアル等防災無線の多言語化等の検討
- ・地区公民館に対する補強工事補助による防災機能の強化
- ・土砂災害特別警戒区域からの移転促進（流域内の全市町村）
- ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実
- ・内外水一体型のリスクマップを踏まえた立地適正化計画の見直し
- ・止水板設置の補助（熊本市）

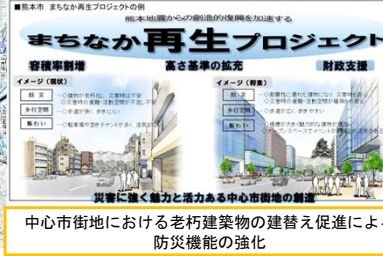
■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、堤防整備、護岸整備、橋梁架替、堰改築、阿蘇立野ダム、河床掘削
- ・調整池の整備
- ・住宅等における雨水浸透施設の設置補助
- ・一定規模以上の開発行為に対する雨水地下浸透の指導
- ・流域の雨水貯留施設の設置補助
- ・雨水浸透柵の設置
- ・校庭貯留施設整備
- ・森林の整備・保全、治山施設の整備
- ・ため池の補強・有効活用
- ・草原の保全・再生（流域自治体、環境省）
- ・砂防堰堤整備
- ・流域流木対策（林野部局との連携強化）
- ・水田の貯留機能向上
- ・気候変動を踏まえた確率降雨強度の見直し等



凡例
 気候変動考慮時の浸水深0.5m以上のエリア
 大臣管理区間

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
 ※ 流域治水プロジェクト2.0で新たに追加した対策については、今後河川整備計画の過程でより具体的な対策内容を検討する。



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 国・県・市町村
 - ・水位監視カメラの設置（国、県、高森町、西原村）
 - 県・市町村
 - ・広域避難の促進・実施（県、流域内の全市町村）
 - ・マイタイムライン普及、避難訓練の促進（県、菊陽町）
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（県、菊陽町）
 - 国
 - ・内外水一体型のリスクマップの作成
 - ・三次元管内図の整備
 - ・危機管理型水位計の公開
 - ・洪水予測の高度化
 - ・阿蘇ジオパーク推進協議会と連携した流域治水の情報発信
 - ・阿蘇立野ダムインフラツアーと連携した流域治水の情報発信
- 水害版企業BCPの策定支援
- 市・町が実施する水防災教育の支援
- 熊本県
 - ・水害リスク空白域の解消
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
 - 市町村
 - ・総合防災マップ、ハザードマップの作成・更新（阿蘇市、西原村、大津町）
 - ・**内水リスク情報の公表（熊本市、菊陽町）**
 - ・ため池ハザードマップの作成（西原村）
 - ・消防団防災士の育成、防災訓練の実施（南阿蘇村）
 - ・防災教育、自主防災組織の活動の推進（阿蘇市、西原村、南阿蘇村）
 - ・白川左岸の避難場所確保（大津町）
 - ・ハザードマップの配布、浸水想定区域の周知（阿蘇市、南阿蘇村）
 - ・熊本地方気象台との連携による避難指示等の遅延防止（菊陽町）
 - ・白川（陣内）水位予測システムによる情報把握（大津町）
 - ・VR・ARを活用した体験型の防災訓練の実施（菊陽町）
 - ・キキクルの普及等ITCを活用した早めの自主避難の促進（菊陽町）
 - ・外国人対応の防災マップ、避難所マニュアル等の整備（菊陽町）
 - ・防災無線の多言語化の検討（菊陽町）
 - ・防災無線による情報発信（菊陽町）
 - ・まるごとまちごとハザードマップの作成（想定最大規模）（熊本市）
 - ・**ワンコイン浸水センサの設置（熊本市）**

白川水系流域治水プロジェクト

氾濫を防ぐ・減らす	被害対象を減らす	被害の軽減・早期復旧・復興
<ul style="list-style-type: none"> ○気候変動を踏まえた治水計画への見直し (2℃上昇下でも目標安全度維持) <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・気候変動を考慮した河川整備計画に基づくハード対策(河道掘削、護岸整備、橋梁架替、河床掘削) ・砂防堰堤整備 ○流域対策の目標を定め、 役割分担に基づく流域対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・草原の保全・再生 (流域自治体、環境省) ・流域の雨水貯留施設の設置補助 ・雨水浸透柵の設置 ・流域流木対策 (林野部局との連携強化) 		<ul style="list-style-type: none"> ○流域対策の目標を定め、 役割分担に基づく流域対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・内外水一体型のリスクマップの作成(国) ・広域避難の促進・実施(県、流域内の全市町村) ・マイタイムライン普及、避難訓練の促進(県・菊陽町) ・防災無線による情報発信(菊陽町) ・防災無線の多言語化の検討(菊陽町) ・VR・ARを活用した体験型の防災訓練の実施(菊陽町) ・白川(陣内)水位予測システムによる情報把握(大津町) ・防災教育(阿蘇市、西原村) ・白川左岸の避難場所確保(大津町) ・ハザードマップの配布、浸水想定区域の周知(阿蘇市、南阿蘇村) ・全市町村を対象とした避難訓練の実施(国、流域内の全市町村) ・熊本地方気象台との連携による避難指示等の遅延防止(菊陽町) ・キキクルの普及等ITを活用した早めの自主避難の促進(菊陽町) ・外国人対応の防災マップ、避難所マニュアル等の整備(菊陽町) ・阿蘇ジオパーク推進協議会と連携した流域治水の情報発信(国) ・阿蘇立野ダムインフラツアーと連携した流域治水の情報発信(国) ・まるごとまちごとハザードマップの作成(想定最大規模)(熊本市)
	<ul style="list-style-type: none"> ○溢れることも考慮した減災対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・内外水一体型のリスクマップを踏まえた立地適正化計画の見直し(熊本市) ・土砂災害特別警戒区域からの移転促進(流域内の全市町村) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○被害対象を減少させるための対策 <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実 ・防災マップ、避難所マニュアル等防災無線の多言語化等の検討 ・地区公民館に対する補強工事補助による防災機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○インフラDX等の新技術の活用 <ul style="list-style-type: none"> < 具体の取組 > ・三次元管内図の整備(国) ・危機管理型水位計の公開(国) ・洪水予測の高度化(国)